

目 次

P1 年次大会の報告	県支部幹事 井本 郁子
P2 講演会の報告	県支部幹事 石附 尚志
P3 交流会の報告（新合格者祝賀会）	県支部幹事 西谷 元則
《特集》	
P4 協賛団体若手技術者の紹介	株式会社 工藤設計上下水道課 行平 幸司 氏
《活動報告》	
P5 2月度の倫理 CPD 講演会の報告	県支部会員 石附 尚志
P6 宇都宮大学情報提供講座報告（男女共同参画推進委員会）	県支部長 福田 一郎
P7 第1回 サイエンスカフェ～なつやすみいきものさがし～	県支部会員 西谷 元則
P10 栃木県支部組織図	県支部総務委員会
P11 広報委員長のよもやま話	県支部広報委員長 西谷 元則
P11 編集後記	県支部広報委員長 西谷 元則
P12 協賛団体紹介	

年次大会の報告

県支部幹事 井本 郁子

令和8年度の日本技術士会栃木県支部の年次大会は令和8年7月4日（土）ニューみくら（宇都宮市）にて対面形式で開催された。年次大会には、来賓6名、会員30名、新規合格者4名、計40名が出席し、令和7年度の活動および収支報告、令和8年度の活動方針、委員会組織の変更、さらに各委員会の事業計画および収支予算書が提案された。

司会は亀田則男副支部長による進行のもと、福田一郎支部長の挨拶に始まり、技術士会長表彰、名誉会員の紹介につづき、令和7年度の事業報告・収支報告、令和8年度の活動方針および事業計画、予算が提案され、承認された。



写真1 福田支部長挨拶

（1）技術士会会長表彰および新名誉会員の紹介

（公社）日本技術士会会長により、宮下治氏（入会歴35年以上）、大井隆資氏（入会歴35年以上）へ長年にわたる活動への貢献に対して表彰がなされた。黒須重富氏（元支部長）は、長期にわたり支部の発展と、地域活動への貢献に勤められたことなどから名誉会員に推戴された。

（2）報告事項

1）令和7年度事業経過報告について

令和7年度は、年間を通じて、講演会やCPD研修・現地見学会などが実施され、会員の自己研鑽の支援、技術士の活用促進、知名度向上、DEIの促進、理科教育の支援などが行われた。

2）令和7年度収支報告

令和7年度の収支報告が小川正順総務委員長より説明され、会計監事宮下治氏により監査報告がなされた。

（3）令和8年度活動理念および方針

福田支部長から県支部として 15 周年を迎えたことへの会員および協賛団体、関係機関への感謝にあわせて、支部の活動理念および活動方針が述べられた。

1) 活動理念：技術士の品位の保持、資質の向上及び業務の推進改善を図るため、技術士の研修並びに会員の指導及び連絡に関する業務を行い、もって科学技術の向上及び国民経済の発展並びに国際交流の推進に寄与し、更には広く社会に貢献することを活動の理念とする。

2) 活動方針

① “会員の顔が見える会” を旗印として、会員の拡大と各委員会活動の活性化による支部の強化。CPD 講座、現地見学会、研修会の充実。

② “地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋” となるよう、社会貢献活動を展開する。情報共有、理科教育活動、防災支援活動、男女共同参画推進に資する活動を推進する。

③ 中小企業を支援する業務の拡大を図る。技術士業務の案内や具体的な支援内容を紹介するとともに、依頼された業務の質の向上に努める。

④ 中国浙江省科技交流和人材服務中心と相互の技術交流を深め、成果に結び付ける。

3) 令和 8 年度事業計画および収支予算

各委員長より令和 7 年度の活動報告および、令和 8 年度の活動計画が提案された。

それぞれ、総務委員会（小川委員長）、企画研修委員会（石附委員長）、広報委員会（西谷委員長）、男女共同参画推進委員会（井本委員長）、企業支援委員会（日高委員長）、国際委員会（亀田委員長）、地域社会貢献委員会（西谷委員長）、防災支援委員会（島田委員長）からの報告および提案であった。その後、活動計画に基づいた収支予算書が小川総務委員長より提案され、承認された。



写真 2 年次大会の様子

講演会の報告

県支部幹事 石附 尚志

1. 令和 8 年 7 月度の講演会は、7 月 4 日（土）に開催され、会場での参加者 38 名でした。

講演会の概要を報告します。

2. 講演 演題：「最近のエネルギー情勢と食糧問題」

講師：（株）資源・食糧問題研究所 代表 柴田明夫 様

① 2026～2027 年の世界経済について、ホルムズ海峡がチョークポイントとなり、エネルギー安全保障に大きく関わっている。原油、レアメタル、食糧の価格が大きく変動した背景に何があるのか？資源のマーケットを見るポイントとして、経済活動 IMF 見通し、世界経済の分断、脱炭素の方向に動くと原油の需要が減る前に供給が減る。② 日本経済と資源・エネルギー：原油高が招く貿易収支の赤字③ 供給サイドの制約の側面も生じており、コモディティ



写真 3 柴田 講師

のスーパーサイクルの再来へ④第3次オイルショックの到来か？イラン戦争による供給中断の影響⑤ホルムズ海峡閉鎖の影響による OPEC12 カ国の最近の産油量の減少⑥供給困難な中、世界の石油需要をどう見るか⑦イラン情勢緊迫化に至る経緯、ホルムズ海峡を支配するうまみを知ってしまった⑧同床異夢の EV シフト⑨中国の脱炭素技術のコモディティ化戦略：安価で生産してコモディティ化する戦略⑩浮き彫りになった我が国のフード・システムの脆弱性⑪食糧という財の5つの特徴⑫穀物への投機マネーの流入による価格体系上方シフト⑬世界の食糧価格上昇にみる危機の兆候、バイオ燃料への代替需要で食糧価格上昇、窒素減産で作付けが抑制され穀物全般の生産減少⑭種子、農薬、肥料、農機で市場の寡占が進んでいる⑮拡大 BRICS：9カ国をどう見るか⑯資源ストック(生産・保有量)では侮れない BRICS⑰重要資源の決済通貨として「人民元」が存在感を強める⑱世界の穀物貿易量は2億トン→5億トン台へ拡大⑲中国の食糧生産7億トン台へ⑳「農業強国」づくりを進める習近平㉑世界の穀物在庫の過半を占める中国㉒日本が追及してきた「3つの安定」が保障されなくなった㉓日本の食料安全保障が脅かされる事態㉔農業生産資材の価格上昇に対して、自らの商品である農産物の価格が総じて低迷している㉕「骨太の方針 2019」とスマート農業の実装㉖大規模農家だけでは必要量を満たせない㉗「輸出で稼げる日本農業を作る」ということ㉘「需要に応じた生産」を考えるについてご講演された。



写真4 講演会の様子

交流会（新合格者祝賀会）の報告

県支部幹事 西谷 元則

令和8年度の栃木県支部の年次大会、講演会の後、会場を隣に移して、技術士一次試験合格者及び二次試験合格者の方々を招待しての「交流会（新合格者祝賀会）」（以下「祝賀会・交流会」と称す）が催されました。祝賀会・交流会は、隣との間隔をゆったりと取った明るく和やかな雰囲気の中で、進んで行きました。

冒頭のあいさつは福田支部長、協賛団体のあいさつを東洋測量設計（株）戸部専務、乾杯を統括本部総務諸田副委員長によりスタートしました。

新合格者の会場には、令和7度の技術士二次試験合格者の小野寺康之（機械部門）写真 [6](#) 左1人目、伊藤壮太（総合監理部門）写真 [6](#) 中央、野口秀和氏（上下水道部門）写真 [6](#) 右1人目、一次試験 [1](#) 合格された関根成美氏（電気電子部門）写真 [6](#) 左2人目、中川寛大（機械部門）写真 [6](#) 右2人目の5名が出席されました。

合格されたお一人お一人に自己紹介とご挨拶いただき、今後の抱負などを話していただきました。

締めめのあいさつは、新合格者の伊藤壮太（総合監理部門） [1](#) による一本締めで閉会しました。



写真5 戸部専務

この中にはすでに会員に登録されている方もいらっしゃいましたが、一次合格者~~の~~も、早く二次試験に合格していただき、栃木県支部の一員として入会していただければと思っています。

~~栃木県支部でも、~~高齢化が進む栃木県支部において、み活力となる人材となることをるように期待しております。一次試験合格者の方も活動に参加できますので、ご連絡ください。



写真6 新合格者

《特集》協賛団体若手技術者の紹介

1.自己紹介

株式会社工藤設計

上下水道課 行平 幸司 氏

趣味：競馬、海外サッカー観戦、料理。

休日は競馬を楽しむことが多く、その日の馬場状態やレース傾向に加え、出走メンバーの構成や各馬の能力比較なども考慮しながら予想を組み立てています。近年はAIや機械学習を活用した競馬予想システムの構築にも取り組んでおり、データを活用して物事を分析することや、試行錯誤を重ねながらより良い仕組みを作り上げることに楽しさを感じています。

また、一口馬主として競走馬への出資も行っており、出資馬の応援のために競馬場へ足を運ぶこともあります。馬の成長やレース結果を見守ることは大きな楽しみの一つです。

サッカー観戦も趣味の一つで、欧州リーグや日本代表の試合をよく観戦しています。各選手の特徴やチーム戦術に注目しながら、ピッチ上でどのような駆け引きや変化が起きているのかを考えながら見ることを楽しんでいます。



2 経歴

2020年3月 北見工業大学工学部 マテリアル工学科 卒業

2020年4月 株式会社工藤設計 入社

3 若手技術者

・入社した動機

学生時代は工学部で分析化学研究室に所属し、化学的な評価手法について学びました。同研究室では河川の水質を取り扱う研究を行っており、その過程で水という身近な存在が多くの技術者の努力によって安全に供給されていることを知りました。

就職活動を進める中で、人々の生活に欠かせない社会インフラの重要性を実感し、その中でも安全で安定した水の供給を担う水道事業に魅力を感じました。生まれ育った栃木県に貢献したいという思いから、地域社会を支える仕事に携わりたいと考え、工藤設計へ入社しました。

- 現在の仕事

主に上水道施設や管路の更新計画・設計業務を担当しています。浄水場や配水場の設備更新、老朽化した管路の更新計画・設計、経営戦略策定支援など、水道事業体が抱える課題に対して技術的な検討や設計を行っています。

- 現在の興味ある仕事

人口減少や施設の老朽化が進む中、限られた財源で持続的に水道事業を運営していくためには、効率的な維持管理や施設更新がますます重要になると考えています。

新しい技術や手法にも積極的に目を向けながら、より合理的で実効性の高い設計、更新計画の策定に携わっていきたいと考えています。

- 技術士に向けて

技術士は高度な専門知識だけでなく、技術者としての倫理観や課題解決能力も求められる資格と捉えています。

日々の業務で得られる経験を大切にしながら、水道事業が抱える課題を広い視点で捉えられる技術者を目指し、研鑽を積んでいきたいと考えています。

- 将来の目標

将来的には、水道施設の設計だけでなく、水道事業全体の課題解決に貢献できる技術者になることを目標としています。

人口減少や施設の老朽化、技術者不足など、水道事業を取り巻く課題は年々複雑化しています。その中で、従来の技術に加えてデジタル技術やデータ分析も取り入れながら、持続可能な水道事業の実現に貢献したいと考えています。

《活動報告》

2 月度の倫理 CPD 講演会の報告

県支部幹事 石附 尚志

1. 日時：2026年2月14日（土）3時30分～16時
2. 会場および参加人数：ライトキューブ宇都宮小会議室 104、18名

3. 講演会の内容

演題：「自ら取り組む DEI 推進」

講師：日本技術士会 DEI 委員会 瀬尾弘美 様
(所属) 株式会社建設技術研究所

①DEI について正しく理解すること、②日本技術士会の DEI 推進の取り組み、③DEI 推進の取り組みの参考例、④自らや所属組織でなにができるかを考えるについて講演頂いた。女性活躍推進に DEI が必要な理由として男女平等の歴史的な浅さ、性別役割分担の根深さ、女性のロールモデル不在があげられる。2025 年 5 月に日本技術士会 DEI 推進宣言が出された。本会の使命として技術士の品位の保持、資質の向上等を図ることにより、科学技術の向上や国民経済の発展、国際交流の推進に寄与し、さらには広く社会に貢献するとある。社会動向と本会の現状と課題を認識し、DEI（多様性、公平性、包摂性）の推進により、すべての技術士が活躍し、社会課題の解決やウェルビーイングの向上に貢献することを宣言するものである。現状、技術士に占める女性は 10 年で 1% 増ではあるが全体として 2.7% である。基本方針の中で DEI を推進する 3 つのシンカとして①意識の深化～DEI 風土・文化の醸成～②仕組みの進化～多様な技術士の活躍～③社会貢献で真価～多様な技術による社会課題解決～をあげている。現在技術士会 DEI アクションプランを策定して活動中であり、今年の 12 月には公表する予定である。月刊技術士に「DEI シリーズ」として連載中。技術士会 DEI 活動に関する組織調査として、少数派への声かけ、意見聴取、女性講師、セミナーでの障害者配慮、組織間連携、マイノリティに関わる社会課題解決等を行っている。また、企業での取り組みとして DEI 推進計画として目標数値の設定、アクションプランとモニタリングを薦めている。DEI を自分事にするためと称して、会場にて、お隣同士でのディスカッション、その後、Web 参加者も含めた全体ディスカッションを行い、活発な意見の取り交わしが行われた。



写真 7 瀬尾講師



写真 8 講演会の様子

宇都宮大学情報提供講座報告（男女共同参画推進委員会）

県支部長 福田 一郎

令和 8 年 1 月 9 日 14 時 20 分から約 40 分、宇都宮大学にて同大農学部農業環境工学科 1 年（約 30 名うち女士子学生 10 名）を対象に講座を開催した。

講義は「技術者と技術士資格について」と題して、講師は当支部男女共同参画推進委員会の井本委員長、徳江副委員長、同学科卒の県職員恒川千尋氏が務めた。

冒頭、福田が講座の趣旨を説明した。当学科卒業生は JABEE 認定プログラム修了生となり技術士一次試験が免除となる。民間、公務員等の職業を問わず、俯瞰的な視野を持った技術者（技術士）を目指してもらいたいことや、日々の努力と挑戦の気持ちが重要であるとの思いを語った。

井本委員長からは緑地計画、景観生態学、応用生態学の環境計画を専門とし、(株)緑生研究所に勤務する中で、「野鳥公園」や「自然観察の森」などの計画や地域の自然環境の保全計画などに携わってきた。様々な社会の課題について、科学に基づいた知識と経験で答えを見いだしていくことに携わることができる職業として、技術者（技術士）という選択があり、資格は仕事の知識・領域・交流を広げる力となったと述べた。

徳江副委員長は日本工営株式会社環境部、中央研究所を経て、現在は鹿島建設株式会社技術研究所に勤務し、環境分野のコンサルタントとして建築・土木プロジェクトでのネイチャーポジティブの取組に関わっている。もし、民間企業の立場で行政の仕事に携わるのなら、技術士は運転免許と同じ必須資格であることを強調した。

恒川千尋氏は同大農学部農業環境工学科 平成 25 年 3 月卒業し民間会社に就職。令和 2 年 4 月、栃木県庁へ総合土木職として入庁。出先機関や河川課の仕事を経験し、現在は県南の土木事務所に勤務している。

後輩に対して「筋道を立てて物事を考えること」「想像力を養うこと」は、技術者として働くうえで大切であること。現在、技術士の資格取得に向け勉強中であること。「JABEE 認定プログラムはとても良い制度であるので、是非頑張ってください」。とエールを送った。

今回、初めての試みであったが技術士の裾野拡大のため地道であるが良い機会であった。このような機会を提供していただいた宇都宮大学に感謝申し上げます。



写真 9 井本講師



写真 10 徳江講師

第 1 回 サイエンスカフェ ～なつやすみ いきものさがし～

日時：令和8年7月25日 9:00～11:30

会場：みずほの自然の森公園

参加者：小学生 11 名、保護者 10 名

スタッフ：地域社会貢献委員会：井本郁子、富田卓哉、徳江 義宏、水野 潤、永田圭佑、中野泰宏、山木雅彦、西谷元則とビオトープ管理士 1 名の 8 名、計 29 名

今回は、栃木県支部主催のサイエンスカフェを初めて開催しました。これまでは行政、大学、NPO 法人および任意団体などが開催するイベントへの参加にとどまっていたため、参加者の募集には大変苦労いたしました。

会場である「みずほの自然の森公園」付近の小学校 3 校を対象に、地域社会貢献委員会の山木氏が学校側と協議のうえ、チラシを 700 部以上配布することができました。その結果、定員 10 名に対し 15 名もの応募をいただくことができました。本来であればご応募いただいた全員にご参加いただきたかったのですが、会場の都合上、抽選により 11 名を選出いたしました。落選された方々には、この場を借りて深くお詫び申し上げます。

また、パンフレットの作成やアンケートの作成・集計にご協力いただいた徳江氏に心より感謝申し上げます。



さて、今回のイベントは以下のスケジュール（敬称略）で開催いたしました。

【 スケジュール 】

9:00～9:15 受付

9:15～9:20 開催あいさつ（西谷）

9:20～9:40 ペットボトル虫かごづくり（富田）

9:40～9:45 生きもの観察アプリの説明（徳江）

9:45～10:30 草むらや森で生きもの探し（2 班に分けて観察）

1 班：井本、徳江、山木、2 班：水野、中野、永田、ビオトープ管理士

10:30～11:15 生きもの名前を調べる・スケッチ（井本）

11:15～11:30 ミニ発表会（西谷）

11:30～11:35 記念撮影（西谷）

11:40 解散

1. ペットボトル虫かごづくり

ペットボトル虫かごづくりでは、1.0～1.5Lの炭酸飲料のペットボトルを使いました！炭酸飲料のボトルは頑丈で、表面の凹凸が少ないため中の虫を観察・スケッチしやすいのが特徴です。

スチレンボードのカットや紐を通す穴あけなどは事前に富田氏が準備してくださり、当日はカッターで少し加工して組み立てる作業を行いました。保護者の方は男性が多く、子どもと一緒に夢中になって工作する姿が印象的でした。

小学生には少し難易度の高い部分もありましたが、とても思い出に残る体験となりました！



写真 11 虫かご作成の説明する富田氏（右側）



写真 12 ペットボトル虫かご作成の様子

2. 生きもの観察アプリの説明

虫取りに行く前に、生き物観察アプリを紹介しました。

生きもの観察アプリはたくさんありますが、今回は「iNaturalist」を提案し、アプリの使い方として写真から生きものの名前を調べたり、自分の観察記録の蓄積や他の人の観察記録をみることができアプリであること説明した。

3. 草むらや森で生きもの探し

生き物探イベントでは、小学生と保護者の方 5～6 名にスタッフ 3～4 名がついた 2 つの班を作り、みんなで公園内を観察しました！

当日はとても暑かったため、観察時間を 45 分ほどに短縮して行いましたが、子どもたちはたくさんの昆虫を夢中で捕まえていました。

途中でペットボトル虫かごの底が外れて、せっかく捕まえた虫が逃げてしまうトラブルもあり、事前に使い方のコツを伝えたり、水分補給の声をかけたりといった配慮の大切さを実感しました。今回の反省を活かし、次回はより安心して楽しめる環境を作っていきたいと思います。



写真 13 子供たちと昆虫採取の様子



写真 14 捕まえた昆虫を虫かごへ

4. 生きもの名前を調べる・スケッチ

捕まえてきた生き物を調べてスケッチする時間では、アプリを使う人、図鑑で調べる人と様々でしたが、皆さんとても楽しそうに調べながら、自分なりのスケッチを完成させていました。



写真 15 図鑑を身ながら捕まえた昆虫を調べる

5.ミニ発表会

調べた内容やスケッチは、最後に全員の前で発表してもらいました。どの作品もよく観察されており、発表もしっかりとできていた印象です。スケッチも非常に丁寧に描かれていました。



写真 16 ミニ発表会の様子

6.記念撮影

最後に皆さんで記念撮影をしました。実施したアンケートの内容から、「本日のイベントの満足度約 78%」と高い評価をもらえました。

また、今後参加してみたいテーマにばらつきがあり、技術士が開催するイベントとして企画していきたいと感じました。



写真 17 集合写真

栃木県支部	最高顧問・名誉会員 田仲喜一郎 (農業) 特別顧問 菅井俊郎 (経営工学) 小黒幸市 (建設) 黒須重富 (建設・総監) 参与 久芳良則 (衛生工学・総監)		総務委員会 委員長 小川 正順 (農業) 副委員長 島田 源一 (建設・総監) 谷口 雅昭 (建設) 徳江 義宏 (環境) 水野 潤 (建設・環境) 吉岡 雅也 (建設)		管理内容 ・年次大会及び役員会の開催 ・支部の外部との窓口と調整 ・他委員会との調整 ・予算管理及び事業執行と進捗管理 ・支部事務所の管理 ・会員の拡大
	支部長 福田 一郎 (建設・総監) 副支部長 小川 正順 (農業) 亀田 則男 (建設) 西谷 元則 (上下水道) 幹事 石附 尚志 (電気・電子) 井本郁子 (総監・建設・環境) 島田 源一 (建設・総合) 谷口 雅昭 (建設) 徳江 義宏 (環境) 富田 卓哉 (電気電子・総監) 日高 倫明 (機械) 水野 潤 (建設・環境) 吉岡 雅也 (建設) 会計幹事 新井 達雄 (建設) 宮下 治 (上下水道) 会員 221名 内進会員 (64名)		企画・研修委員会 委員長 石附 尚志 (電気・電子) 副委員長 亀田 則男 (建設) 富田 卓哉 (電気電子・総監) 日高 倫明 (機械) 山本 義紀 (環境)		管理内容 ・講演会、見学会、倫理講座 ・科学技術講演会、地域、協賛団体にも役立つ講演会の実施 ・技術士を目指す技術者との交流を通じての支援
	協賛団体 34社 ・宇都宮測量㈱ ・㈱エース設計 ・㈱エスアイエイ環境事務所 ・㈱格和測量設計 ・㈱工藤設計 ・㈱景観プランニング ・㈱シー・アイ・エス ・㈱真和技研 ・㈱篠原設計 ・㈱ダイミツク ・㈱中央土木工学研究所 ・㈱都市環境設計室 ・㈱都市開発コンサルタント ・㈱栃木県用地補償コンサルタント ・㈱ピーシーレールウェイ コンサルタント ・㈱富貴沢建設コンサルタンツ ・㈱水環境プランニング ・㈱安田測量 ・㈱緑生研究所 ・協和測量設計㈱ ・晃洋設計測量㈱ ・大日本ダイヤコンサルタント㈱ 関東支社宇都宮支店 ・東亜サーベイ㈱ ・東洋測量設計㈱ ・栃木県庁技術士OB会 ・栃木県庁職員技術士会 ・日研測量㈱ ・日本測地㈱ ・日昌測量設計㈱ ・パスキン工業㈱ ・富士コンサルタンツ㈱ ・フジ測量設計㈱ ・芙蓉地質㈱ ・前田製管㈱		広報委員会 委員長 西谷 元則 (上下水道) 副委員長 大島 晃二 (機械) 徳江 義宏 (環境) 吉岡 雅也 (建設)		管理内容 ・会員及び対外への情報発信 ・会報の発刊、ホームページの管理 ・情報発信や管理に関する活動
			男女共同参画推進委員会 委員長 井本 郁子 (総監・建設・環境) 副委員長 三浦(生出) 理子 (金属) 徳江 義宏 (環境)		管理内容 ・女性技術者の育成、支援 ・技術者社会におけるダイバーシティの実現
			事業部門 企業支援委員会 委員長 日高 倫明 (機械) 副委員長 石附 尚志 (電気電子) 渡辺 英倫 (機械)		事業内容 ・栃木県産業団体の情報提供 ・新規支援業務開拓 ・栃木産業振興ネットワーク活動 ・支援業務情報の整備
			公益部門 国際委員会 委員長 亀田 則男 (建設) 副委員長 島田 源一 (建設・総監) 田崎 瑞穂 (建設) 羽山 定治 (機械)		事業内容 ・中国浙江省科技交流和人材服務中心との技術交流・招聘事業の実施 ・日韓技術士国際会議への参加 ・栃木県国際交流行政への協力
			地域社会貢献委員会 委員長 西谷 元則 (上下水道) 副委員長 井本 郁子 (総監・建設・環境) 徳江 義宏 (環境) 富田 卓哉 (電気電子・総監) 水野 潤 (建設・環境)		事業内容 ・サイエンスカフェ ・とちの環県民会議 ・とちぎライフフェスタ ・再生可能エネルギー ・市貝プロジェクト ・スマート農業
			防災支援委員会 委員長 島田 源一 (建設・総監) 副委員長 亀田 則男 (建設) 池田 友浩 (建設)		事業内容 ・関東甲信県支部防災連絡会議 ・防災支援

※ 50音順

広報委員長のよもやま話

県支部広報委員長 西谷 元則



竹駒神社



キツネそばといなり寿司



キツネの顔した風鈴



金蛇水神社



デザート



ニッカウヰスキー



今回も、宮城県内の紹介です。まず、岩沼市の竹駒神社に行ってきました。7月1日～8月31日まで夏詣が開催されています。竹駒神社は古来より日本三稲荷のひとつに数えられており、歴史のある神社です。

ここで昼食の狐そばと山椒いなりを堪能しました。

次に金蛇水神社です。竹駒神社から車で10分ぐらいで到着します。古くから水に関わる神として信仰されてきた神社で、水にかかわる仕事をしている私は行っておきたいところでした。ちょうど水神傘展が開催されていました。ここで食後のデザートに、いちごジャムのかかったアイスクリームを注文。中には白玉が7個ぐらい入っていました。

最後にニッカウヰスキーに行ってきました。車だったのでちょっとだけ見学です。次回はバスに乗っていきます。

編集後記

7月5日に「令和8年度 栃木県支部年次大会」も無事開催され、県支部活動が本格的にスタートしました。ここ数年、新鮮な県支部活動があまり見られなくなり、新事業への取り組みを検討していく必要があります。今回、企画研修委員会で「技術士の集い」が役員を対象に実施されます。これを機に対象を会員まで広げ、県支部会員の「顔の見える会」にしていければと思います。さらに、新合格者には技術士会に入会していただき、県支部の若返りと、新しい活動へのアイデアを提案していただき、活動の幅を広げていければと期待するところです。

話は変わりますが、各地で熊が出没しています。宇都宮市内や仙台市内など中心市街地でも出没してちょっと怖いです。私は朝のジョギングをしていますが、水辺には近づかないようにしています。餌を探しに来ているのか、森で競争に負けて逃げてきたのか私にはわかりませんが、恐怖はいつまで続くのか心配です。良い解決策があれば良いのですが……。

最後に、本会報の発刊にあたりご協力いただいた方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

公益社団法人 日本技術士会 栃木県支部 会報 第25号 2026年8月発行

発行 者：栃木県支部（支部長 福田 一郎）

広報委員会：委員長 西谷元則

副委員長 徳江義宏、吉岡 雅也、大島晃二

委 員 大岩正通

事 務 局：〒321-0954 宇都宮市元今泉5丁目9-7 宇都宮まちづくりセンター内

Tel：028-678-8600/Fax：028-678-8630



～栃木県支部を支えていただいている～協賛団体（五十音順）

 宇都宮測量株式会社	 SIA Environmental Office 株式会社 エスアイエイ 環境事務所
 株式会社 エース設計	 KUDOU SEKKEI 株式会社 工藤設計
 株式会社 格和測量設計	 KYOWA 協和測量設計株式会社
 株式会社 景観プランニング	 晃洋設計測量株式会社
 建設コンサルタント 株式会社シー・アイ・エス Construction Information Service	 株式会社 篠原設計
 株式会社 真和技研	 大日本ダイヤコンサルタント 関東支社 宇都宮支店
 DAIMICK 株式会社 ダイミック	 CER 株式会社 中央土木工学研究 Central Civil Engineering Research Co., Ltd
 TOA SURVEY 東亜サーベイ株式会社	 東洋測量設計 株式 会社
 URC 建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量全般 株式会社 都市開発コンサルタント	 株式会社 都市と自然をつなぐ。 都市環境設計室
 株式会社 栃木県用地補償コンサルタント	一栃木県職員退職者の熟練技術者～ 栃木県庁 OB 職員技術士会
栃木県県庁職員技術士会	 日研測量株式会社
 日昌測量設計株式会社 NISSHO SURVEYING DESIGN CO.,LTD	 NS 日本測地株式会社
 コンクリート製造販売・建設コンサルタント パスキン工業株式会社	 PCRW 株式会社 ビーシーレールウェイコンサルタント
 株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ	 富士コンサルタンツ株式会社
 フジ測量設計株式会社	 芙蓉地質株式会社
 前田製管株式会社	 株式会社 EP 水環境プランニング
 株式会社 安田測量	 株式会社 緑生研究所